

2013年4月30日

ヤマハ株式会社

**2013年3月期 決算の概要と**  
**2014年3月期 業績予想について**

□ **2013年3月期 連結決算の概要** — 対前期、増収増益 —

2013年3月期の売上高は、欧州を中心とする世界経済の減速といった減収要因があったものの、電子部品事業を除くすべての事業セグメントで対前期増収となり、全体では103億円(2.9%)増加の3,669億円となりました。

営業利益は、減産による製造損益の悪化や対ユーロの円高による減益要因があったものの、楽器事業の増益と電子部品事業の損益改善により、全体では、為替による30億円の減益影響を吸収し、対前期11億円(13.6%)増加の92億円となりました。営業利益の増加に伴い、経常利益は対前期13億円(18.3%)増加の86億円、当期純利益は41億円(前期は、繰延税金資産321億円の取崩しなどにより294億円の純損失)となりました。

なお、2012年7月31日公表の国内事業構造改革に関連する費用として、31億円の特別損失を計上いたしました。

□ **事業セグメント別の売上高・営業損益の状況**

・ **楽器事業 売上高 2,727億円(前期比 2.9%増) 営業利益 81億円(前期比 5.6%増)**

ピアノは、国内や欧州などで販売が低調だったものの、北米では需要の回復が見られ、中国の売上げが堅調に伸びたことから、全体で若干の増収となりました。電子楽器は、国内を除く各地域で売上げを伸ばし、増収となりました。管楽器は、北米で需要の回復が見られるものの、主に国内での売上げが低迷し、前期並みの売上げに留まりました。弦打楽器は、ギターが売上げを伸ばしました。PA機器は、デジタルミキサーの新モデル発売により、全世界で売上げを伸ばしました。音楽教室による収入は、生徒募集に苦戦し、減収となりました。

セグメント全体の売上高は、前期に比べ、為替による29億円の増収影響もあり、76億円(2.9%)増加の2,727億円となりました。

営業利益は、為替による19億円の減益影響を吸収し、4億円(5.6%)増加の81億円となりました。

・ **AV・IT事業 売上高 554億円(前期比 4.1%増) 営業利益 29億円(前期比 0.5%減)**

AV機器は、国内の販売で苦戦しているものの、北米で売上げを伸ばし、増収となりました。ルーターおよび会議システムといった主に国内向けの通信機器は堅調に推移し、業務用通信カラオケ機器は、新モデルの投入により、増収となりました。

セグメント全体の売上高は、前期に比べ、為替による7億円の増収影響もあり、22億円(4.1%)増加の554億円となりました。

営業利益は、為替による11億円の減益影響を受け、0.2億円(0.5%)減少の29億円となりました。

・ **電子部品事業 売上高 150 億円（前期比 7.4%減） 営業損失 20 億円（前期 29 億円の営業損失）**

半導体は、アミューズメント用 LSI および地磁気センサー（電子コンパス）が売上げを伸ばしたものの携帯電話用音源 LSI の需要が継続して減少しており、全体では減収となりました。

セグメント全体の売上高は、前期に比べ、12 億円（7.4%）減少の 150 億円となりました。

損益は、固定費の削減などにより 9 億円改善し、20 億円の営業損失となりました。

・ **その他の事業 売上高 238 億円（前期比 7.7%増） 営業利益 3 億円（前期比 41.9%減）**

自動車用内装部品は、前年の東日本大震災による納入先減産からの回復もあり、増収となりました。FA 機器は中国をはじめとする新興国で売上げを伸ばしました。一方、ゴルフ用品は国内外ともに減収となりました。リゾート事業では、集客が前期を上回り、増収となりました。

セグメント全体の売上高は、前期に比べ、17 億円（7.7%）増加の 238 億円となりました。

営業利益は、2 億円（41.9%）減少の 3 億円となりました。

□ **2013 年 3 月期 ヤマハ株式会社個別業績の概要** — 対前期、減収増益 —

2013 年 3 月期ヤマハ株式会社個別業績の売上高については、2,314 億円（前期比 3.3%減）となりました。

損益面では、営業損失 42 億円（前期 43 億円の営業損失）、経常利益 62 億円（前期比 965.2%増）、当期純利益 58 億円（前期 304 億円の純損失）となりました。

□ **2014 年 3 月期 業績予想について** — 増収増益を予想 —

2014年3月期は、商品別には主に電子楽器およびPA機器、地域別には北米および中国をはじめとする新興国市場での売上成長を見込んでおります。加えて為替による96億円の増収を見込んでおります。また、損益面では、増収による増益に加え、国内事業構造改革による25億円の損益改善効果のほか、為替による63億円の増益を見込んでおります。

2014 年 3 月期連結業績については、売上高 3,900 億円（前期比 6.3%増）、営業利益 180 億円（前期比 95.3%増）、経常利益 165 億円（前期比 92.3%増）、当期純利益 135 億円（前期比 227.5%増）を予想しております。

注) 文章中の売上高、損益の数値は、原則億円未満四捨五入で記載しております。

また（ ）内は原則前年同期比増減率です。

以上

# 2013年3月期業績資料

ヤマハ株式会社

2013年4月30日

	前期実績 12年3月期	当期予想 (13/2/6発表) 13年3月期	当期実績 13年3月期	次期予想 14年3月期	次期中間期予想 14年3月期
売上高	3,566億円	3,650億円	3,669億円	3,900億円	1,895億円
国内売上高	1,671億円 (46.9%)	1,671億円 (45.8%)	1,658億円 (45.2%)	1,684億円 (43.2%)	824億円 (43.5%)
海外売上高	1,895億円 (53.1%)	1,979億円 (54.2%)	2,012億円 (54.8%)	2,216億円 (56.8%)	1,071億円 (56.5%)
営業利益	81億円 (2.3%)	70億円 (1.9%)	92億円 (2.5%)	180億円 (4.6%)	95億円 (5.0%)
経常利益	73億円 (2.0%)	60億円 (1.6%)	86億円 (2.3%)	165億円 (4.2%)	85億円 (4.5%)
当期利益	▲294億円 -	0億円 -	41億円 (1.1%)	135億円 (3.5%)	70億円 (3.7%)
為替レート(決済レート)	79円/US\$ 112円/EUR	81円/US\$ 103円/EUR	82円/US\$ 103円/EUR	85円/US\$ 115円/EUR	85円/US\$ 115円/EUR
ROE	▲13.2%	0.0%	1.9%	5.8%	6.1% (*1)
ROA	▲7.8%	0.0%	1.1%	3.4%	3.5% (*2)
1株当たり利益	▲151.7円	0.0円	21.3円	69.7円	36.2円
設備投資 (減価償却費)	113億円 (120億円)	140億円 (115億円)	138億円 (116億円)	154億円 (135億円)	87億円 (61億円)
研究開発費	228億円	227億円	221億円	232億円	116億円
(キャッシュフロー)					
営業活動	109億円	92億円	78億円	278億円	44億円
投資活動	▲90億円	▲108億円	▲126億円	▲154億円	▲74億円
フリーキャッシュフロー	19億円	▲16億円	▲49億円	124億円	▲30億円
期末在庫高	771億円	771億円	820億円	760億円	845億円
(要員数)					
国内	7,443人	7,200人	7,143人	7,000人	7,100人
海外	12,251人	12,800人	12,545人	13,100人	13,200人
正社員計 (*3) (連結範囲変動による増減)	19,694人 (0人)	20,000人 (170人)	19,688人 (173人)	20,100人 (55人)	20,300人 (50人)
正社員外要員(期中平均)	8,497人	7,800人	8,198人	7,900人	8,900人
(事業別売上高)					
楽器 (*4)	2,651億円 (74.3%)	2,705億円 (74.1%)	2,727億円 (74.3%)	2,465億円 (63.2%)	1,225億円 (64.6%)
AV・IT (*4)	532億円 (14.9%)	550億円 (15.1%)	554億円 (15.1%)	-	-
音響機器 (*4)	-	-	-	995億円 (25.5%)	460億円 (24.3%)
電子部品	162億円 (4.6%)	155億円 (4.2%)	150億円 (4.1%)	190億円 (4.9%)	85億円 (4.5%)
その他	221億円 (6.2%)	240億円 (6.6%)	238億円 (6.5%)	250億円 (6.4%)	125億円 (6.6%)
(事業別営業利益)					
楽器 (*4)	77億円	65億円	81億円	120億円	65億円
AV・IT (*4)	29億円	25億円	29億円	-	-
音響機器 (*4)	-	-	-	55億円	30億円
電子部品	▲29億円	▲25億円	▲20億円	0億円	0億円
その他	4億円	5億円	3億円	5億円	0億円

## (単独の状況)

売上高	2,393億円
営業利益	▲43億円 -
経常利益	6億円 (0.3%)
当期利益	▲304億円 -

2,314億円
▲42億円 -
62億円 (2.7%)
58億円 (2.5%)

\* 1, 2 ROE・ROAは年換算値

\* 3 要員数＝期末社員在籍数

\* 4 2014年3月期第1四半期より、AV・IT事業の名称を音響機器事業へ変更し、PA機器を楽器事業から音響機器事業に移動しています。

連結業績予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の連結業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。